

文京学院大学×コンタクトレンズのシード

サーキュラーエコノミーについて楽しみながら学べる「すごろく」を制作

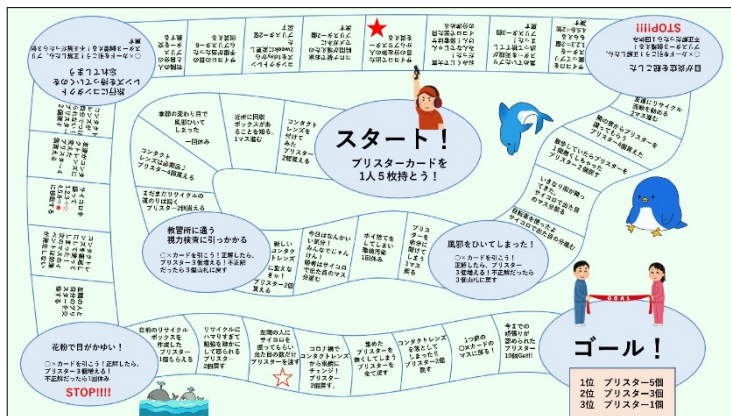
学生が使い捨てコンタクトレンズ空ケースのリサイクル啓発

文京学院大学（東京都文京区、学長：櫻井 隆）は、コンタクトレンズの製造販売を行う株式会社シード（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浦壁 昌広、東証プライム市場：7743）と連携し、SDGs の取り組みの一環として学生が主体となりサーキュラーエコノミーについて楽しみながら学べる「すごろく」を制作いたしました。

この「すごろく」は、株式会社シードの環境施策の一つである「BLUE SEED PROJECT」（使い捨てコンタクトレンズの空ケース(プリスター)を回収し、物流パレットとして半永久的に再製品化しつづける活動）をモチーフとしており、サーキュラーエコノミーについて楽しみながら学ぶことができます。



文京学院大学学生と株式会社シード社員



制作した「すごろく」

■「すごろく」制作背景

文京学院大学経営学部馬渡一浩教授3年生のゼミでは、プラスチック問題についての研究を行っております。この活動は、その研究過程でゼミに所属する学生より、「BLUE SEED PROJECT」について株式会社シードに問い合わせをさせていただいたことから始まりました。未だコンタクトレンズの空ケースのリサイクル率が低いことを知った学生が、身近にできるリサイクル活動として社会へ啓発を行うため、近年流行しているボードゲームの一つである「すごろく」を制作し、株式会社シードはアドバイスや監修等の協力を行いました。

この活動は、「BLUE SEED PROJECT」で実現しているサーキュラーエコノミーや環境問題について、学生に限らず多くの方に楽しみながら学んでいただける機会を増やすことを目的として進めてまいりました。

■「すごろく」を制作した学生のコメント

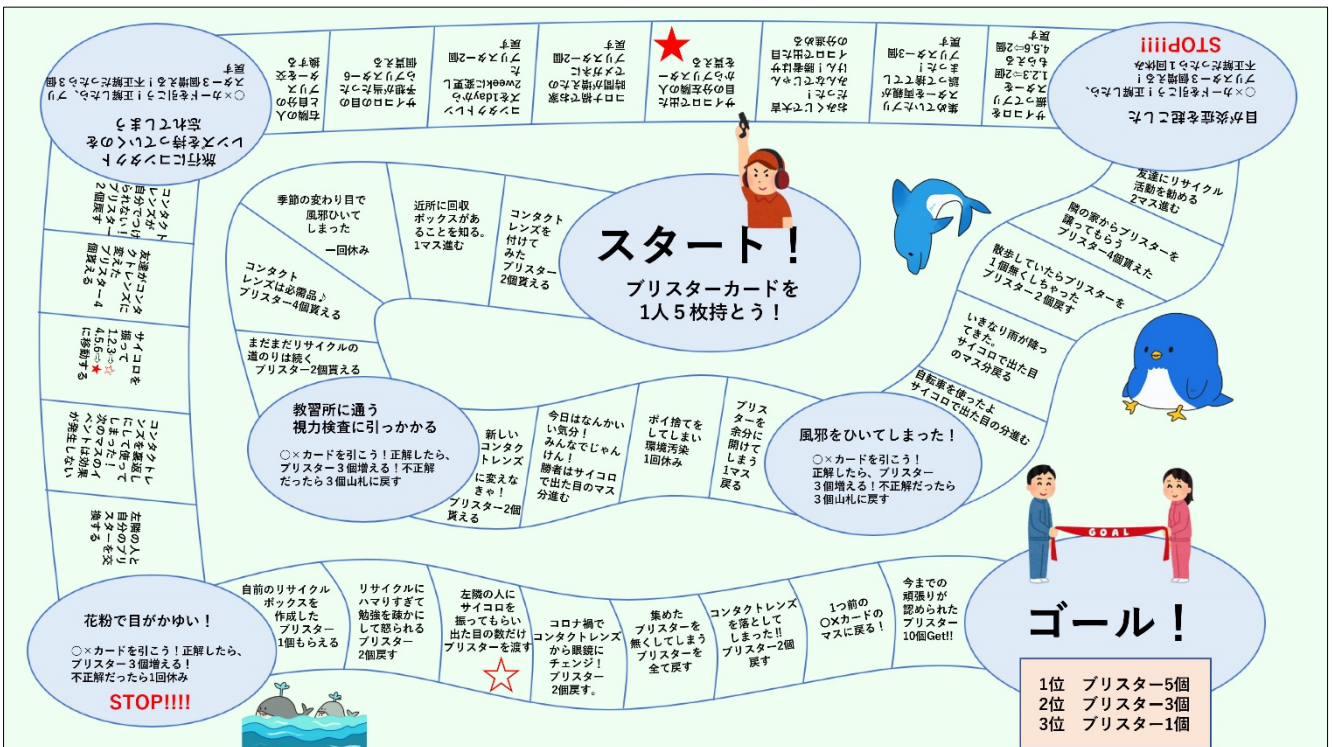
- 内容をより現実の社会とリンクさせることで、リサイクル活動の認識や活動への意欲になるような「すごろく」を提案できたのではないかと思います。実際に「すごろく」を制作する過程において、自分自身もリサイクル活動に対する知識や意欲が向上したと感じています。
- 株式会社シードご担当者の方から話を聞くまでは「BLUE SEED PROJECT」の知識はネット上で調べた情報のみで内容が薄かったです。しかし実際にお話を聞いてみることでコンタクトレンズが生産されている量に対して、プリスターがリサイクルされている数が非常に少ないことを知りました。そしてリサイクル活動に参加をすれば、少しでも貢献できるので

はないかと感じ、さらに協力していきたいという気持ちが増しました。私たちは今回の活動を通してコンタクトレンズ空ケースのリサイクルについての意識が変わりました。大学内での回収活動以外でもリサイクル活動に参加する意識ができました。実際に学内での回収期間が終わった現在も集めているので、その意識を活かして他の方にもリサイクルを習慣化してほしいと思っております。

■「すごろく」概要

ゲームを進めていながら「プリスターカード」を増やしていき、最終的に「プリスターカード」を「パレットカード」に一番多くリサイクルできた人が勝つという内容です。

「すごろく」



■キャンパス内でプリスター回収ボックスを設置、インスタグラムで発信

文京学院大学本郷キャンパス内に学生オリジナルのプリスター回収箱を設置し、約1.5kgを回収しました(2022年11月18日時点)。回収活動が楽しくなるように、回収量が増えるにつれて隠れていた絵が浮き出てくる仕組みとなっています。また同世代である大学生にこの活動を知ってもらうため、インスタグラムを活用し、学生自身が積極的にプラスチック問題について学び、取り組んだことについて発信しています。「今後はプレスリリースの他、学内新聞での掲載等を通して、多くのメディアに取り上げてもらうことで、本活動と“すごろく”について知っていただく機会にしていきたい。」と学生から意気込みのあるコメントがありました。



リサイクル活動を呼びかけるポスターとオリジナルプリスター回収箱

【参考】「すごろく」ルール

すごろくルール①

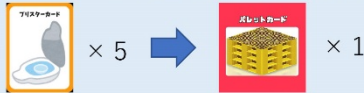
①このゲームはパレットカードを多く持っている人の勝ち。



②プレイヤーにはスタート時にブースターカード5個が配られる。



③プレイヤーは任意のタイミングで手持ちのブースターカード5個とパレットカード1枚を交換できる。
(自分の1ターンに1回だけの制限がある) (ゴール後はサイコロで1を出さないと交換できない)



④「ブースターを〇個戻す」マスで手札のブースターカードが1以下になった時、パレットカードも残りの個数分山札に戻す。
(例：手札ブースターカード2枚/パレットカード1枚の時に「3個戻す」場合、残りの1個分はパレットカードを戻して手持ちは0枚になる)



すごろくルール②

⑤〇〇進む(戻る)マスでは進んだ(戻った)マスの効果はない。

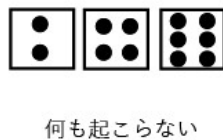


⑥STOPマスは必ず止まろう。

⑦同じ枚数持っていた場合はブースターカードを多く持っている人が勝ち。



⑧ゴールをしてもまだ他プレイヤーがたどり着いていない場合はサイコロを振ることが出来る。出た目によって内容が変わる。



⑨ゴールしていない人が残り一人になったときにゲームは終了する。

【BLUE SEED PROJECT 概要】

名称：BLUE SEED PROJECT (ブルーシードプロジェクト)

時期：2019年6月開始

概要：株式会社シードの活動に賛同いただいている眼科やコンタクトレンズ販売店等に回収ボックスを設置し、SEED製品問わずコンタクトレンズ関連の廃棄プラスチック材を回収。収集された廃プラスチック材はヴェオリア・ジェネツ株式会社により再資源化され、物流パレットとして製品化される。収益は、海洋ごみ問題解決に向けて活動している一般社団法人JEANに全額寄付。

【文京学院大学概要】

名称： 文京学院大学
学長： 櫻井 隆
住所等： 〒113-8668 東京都文京区向丘 1-19-1
電話 03-3814-1661 (代表)
開学： 1991 年
設置学部： 外国語学部・経営学部・人間学部・保健医療技術学部・大学院
在籍数： 5,000 人
ホームページ： <https://bgu.ac.jp/>
馬渡ゼミ Instagram： https://www.instagram.com/____.petty/

【株式会社シード概要】

会社名： 株式会社シード (SEED Co., Ltd.)
代表： 代表取締役社長 浦壁 昌広
本社： 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 2-11 三洋安田ビル
電話 03-3813-1111 (大代表)
設立： 1957 年 10 月 9 日
資本金： 18 億 4,128 万円 (東京証券取引所プライム市場：証券コード 7743)
事業内容： (1) コンタクトレンズ事業 (2) コンタクトレンズケア事業
(3) その他事業 (眼科医療機器等)
ホームページ： <https://www.seed.co.jp>
シード広報 Twitter(公式)： https://twitter.com/SEED_koho
シード広報 TikTok(公式)： https://www.tiktok.com/@seed_koho

以上